

キーワードは「触れ合い」

引き受けたきっかけは

定年退職後に自治会長を経験したことがきっかけで、依頼されました。それまでは、仕事の都合で地元活動になかなか参加できなくて、これからは、地元とのつながりを深めたいと思うたからです。しかし、他人に悩み事の話をしてもらえるのか、とても不安でした。

印象に残る出来事は

「ある家庭のおばあさんが、最近姿が見えない」との連絡を受けて、その家を訪問しました。そのおばあさんは、心配したとおりずっと寝込んでいました。福祉課と相談をしながら対処し、入院をして療養した結果、現在は回復され、自宅に戻り生活されています。もう少し発見が遅れていたらと考えると本当に良かったと思います。

活動をしていて思うことは

最近はお騒々なので、地域を巡回したり声掛けをしたりするのも、不審者に間違われないように、犬の散歩をしながら実践しています。やはり、早く地域内で顔を覚えてもらう必要性を強く感じます。

市民生児童委員協議会 会長語る



市民生児童委員協議会
会長 片桐 勤さん

現在、市内では99人の民生児童委員が、地域福祉向上のために頑張っています。

相談、支援件数の増加

昨年度、地域の皆さんへの支援や相談に応じた件数は、高齢者の在宅福祉や高齢者虐待に関する相談など、市全体で2、100件にも上っています。

また、子育てや母子保健などに関する相談や支援が、近年は大変増加しています。

災害時要援護者対策が急務

今後の課題としては、「災害時における要援護者の支援」の問題があります。

自力での避難が困難な高齢者などの要援護者が、近年の豪雨災害などで

キーワードは「会話」



主任児童委員部会
伊藤 可代子さん

引き受けたきっかけは

もともと子どもが好きなのと、教職を退いた後は、少しでも地域に貢献できればと思い、引き受けました。

印象に残る出来事は

以前に、ある児童が不登校になっていたと連絡があり、その親に連絡をしました。すると「学校に相談しているので、見ず知らずの人の世話にはならない」と言われました。随分悩みましたが、その子どもと二人きりで何度が会って、粘り強く話を続けました。

その結果、不登校の理由は「友達がいない」「個人の性格」「しつけ」など複数の理由が見えてきました。この時は運が良かったのだと思いますが、結局、子どもから発信されるサインをいかに早く、かかわる人親、先生、児童委員などが見つけられるかが大切

だと思っています。

活動をしていて思うことは

現在、子育てサークルなどに多くの人が参加されています。そういった人たちは安心だと思つのですが、そういう場所へ行けない人たちが心配です。その人たちに、どのようにかわっていくのが課題です。

最後にひとこと

活動のキーワードは、「会話」だと思います。子どもと親は当然のこと、友達同士、夫婦、教師と児童生徒、住民同士、行政と市民など、すべて「会話」が基本となっています。微力ながらこれからも頑張っていきたいと思いますので、気軽に「ご連絡ください」。

主任児童委員

主任児童委員は、児童委員の個別支援活動を援助し、児童福祉全般の充実のために広域的、専門的取り組みをします。

さまざまな相談に乗ります

- ◇おじいちゃんの面倒をずっと見てきたが、介護疲れで駄目になりそう。
- ◇隣の一人暮らしのおじいちゃん、最近間違つてわたしの家に来る。もしかしたら認知症が始まったかも。
- ◇隣のお子さん、腕や脚に必ず青あざがあるのよね。もしかしたら児童虐待かも。

お困りのことがありましたら、地域の民生委員・児童委員に気軽に相談ください。



▲授業を見守る民生児童委員

は多数犠牲になっていることから、災害時の要援護者の支援対策が急務となりました。そのためには、担当地域における要援護者情報の収集と対象者の把握に努め、自治会長や福祉委員の皆さんとの連携を図りながら、誰もが住んでよかったと思われるまちづくりができればと思います。

今後も丁寧な対応をします

わたしたち民生児童委員は、皆さんの身近な地域で活動するボランティアです。今後も、皆さんの課題に対して、丁寧に対応するよう心掛けていきたいと思っています。

▲古井小学校の共生学級エスペランサを視察する民生児童委員



▲学校訪問で状況説明を受ける民生児童委員